

1	会議名	平成 30 年度 第 2 回総合教育会議 会議録
2	開催日時	平成 31 年 2 月 20 日（水）午前 11 時～午後 12 時
3	開催場所	6 階議会会議室
4	出席者	市長 福田 良彦 教育長 守山 敏晴 教育長職務代理者 西村 宏 教育委員 廣田 登志子、村尾 利勝、牧中 マリコ
5	欠席者	なし
6	説明のため出席した者	教育次長 山口 妙子 学校教育課長 大谷 弘喜、主幹 村上 和枝 教育センター次長 村中 政文 生涯学習課長（中央公民館長） 原田 広子、主査 藤川 義道 文化財保護課長（岩国徴古館長） 三浦 成寿 中央図書館長 中本 佳孝 科学センター館長 森本 敦彦 英語教育推進室長 熊田 恵美、次長 永木 健一
7	事務局	教育政策課長 重岡 章夫 施設班長 兼田 義浩、政策班長 光井 国康 政策企画課長 石橋 誠
8	協議事項	平成 31 年度の主な取り組み（教育関係施策）について
会議の概要		定刻になりましたので、平成 30 年度第 2 回岩国市総合教育会議を開催します。それでは、開催にあたりまして、福田市長にご挨拶をお願いします。
教育政策課長		
市長		皆さん、こんにちは。本日は、大変お忙しい中、平成 30 年度第 2 回岩国市総合教育会議にご出席いただきありがとうございます。この総合教育会議は、教育委員会制度改革の一環として、全ての地方公共団体に設置することとされたものです。岩国市では、平成 27 年 5 月に第 1 回目の会議を開催し、今回で 8 回目になります。本日は、守山教育長をはじめ、4 名の教育委員の皆様とともに、平成 31 年度の教育関係施策の主な取り組みを中心に、意見交換を行いたいと思います。来年度に実施する主要事業につきまして、皆様と十分な意思疎通を図り、同じ方向性を持って教育行政を推進していきたいと考えていますので、本日も、ぜひ、率直で、忌憚のないご意見をお伺いできればと思いますので、よろしくお願い致します。
教育政策課長		それでは、議事の進行につきましては、岩国市総合教育会議運営要綱第

市長	4条第3項により、市長にお願いいたします。市長、よろしくお願いいたします。 それでは、お手元に配布しております次第にそって、協議を進めていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。議題、平成31年度の主な取り組み、教育関係施策について、協議しますので、説明をお願いいたします。
教育政策課長	教育政策課です。はじめに、東小・中学校校舎建設事業ですが、これは、継続事業になります。昨年度から校舎等の建設工事を実施しています。平成31年度の教育政策課分の工事費は、約32億7,100万円になります。財源には、文部科学省と防衛省の国庫補助金と、合併特例債を活用します。次の御庄小学校プール整備事業も、継続事業になります。平成31年度は、プール整備工事を実施します。財源には、文部科学省の国庫補助金と、合併特例債を活用する予定です。次の小学校低学年トイレセミリフォーム事業も、継続事業になります。平成31年度は、川下小学校の工事を実施します。次の学校施設長寿命化計画策定事業も、継続事業になります。平成31年度は、前年度の業務の成果をもとに、学校施設長寿命化計画を策定します。次に、旧柱野中学校木造校舎等解体事業ですが、これは、新規事業になります。平成31年度に実施設計と解体工事を実施します。次に、小学校非構造部材耐震化事業ですが、これは、継続事業になります。麻里布小、由宇小、高森小、美川小学校の4校の講堂について、天井や非構造部材の落下対策工事を実施します。これは、平成30年度3月補正分になります。予算を繰り越しして、平成31年度に工事を実施するものです。財源には、文部科学省の国庫補助金と合併特例債を活用します。次の中学校非構造部材耐震化事業も、継続事業になります。平田中学校の講堂について、天井や非構造部材の落下対策工事を実施します。同様に、予算を繰り越しして、平成31年度に工事を実施するものです。財源には、文部科学省の国庫補助金と合併特例債を活用します。次に、小学校空調設備整備事業ですが、これは、新規事業になります。美和西小学校の特別教室に空調設備整備工事を実施します。これは、平成30年度3月補正分になります。熱中症対策として、空調設備を整備するため、文部科学省において、1年限りの臨時特例交付金が創設され、昨年11月に、国の第1次補正予算が、可決、成立しました。この度、美和西小学校と中学校7校の特別教室の空調工事に、交付決定を受けることができましたので、3月補正で、歳出として工事費等を、歳入として交付金と合併特例債を計上しています。予算を繰り越しして、平成31年度に工事を実施します。この工事を皮切りに、毎年、小中あわせて8校程度のペースで工事を実施し、平成33年度まで、3ヵ年で整備し、その後は、平成31年度策定の長寿命化計画とも調整しながら、進めて行く予定です。財源には、文部科学省の国庫補助金と

	合併特例債を活用します。次に、中学校空調設備整備事業です。新規事業になります。岩国西中、通津中、平田中、由宇中、玖珂中、本郷中、錦中学校の7校の特別教室の空調設備整備工事を実施します。同様に、予算を繰り越しして、平成31年度に工事を実施するものです。財源には、文部科学省の国庫補助金と合併特例債を活用します。教育政策課からは以上です。
学校教育課長	次は、学校教育課です。まず、小中学校学校給食運営事業〔特定防衛施設周辺整備事業〕です。継続事業です。学校給食運営基金を活用し、市立小中学校の学校給食費の無償化を実施します。次に、小中一貫教育推進事業（単独）です。これは、昨年度まで3年間、市内3中学校区がモデル校指定事業を受けておりました。平成31年度は継続事業ですが、単独事業となります。小中一貫教育は、つながりが大切であると考えており、小中連携が強化され、教職員間の相互理解が進み、授業力が向上し、ひいては、子供たちのあらゆる生きる力の向上につながると期待されます。平成31年度は、学識経験者招聘に係る経費、小・小連携合同学習に係る借上料などを予定しています。次に、小中学校日本語指導支援員配置事業〔再編関連特別地域整備事業〕です。継続事業です。これは、日本語が話せない、または、日常会話程度しかできない外国人子女に対して、学校への適応を図ることを目的に日本語指導支援員を配置しています。具体的には、授業中に寄り添って日本語のサポートをしたり、必要に応じて個別の取り出し指導によって日本語の基礎・基本を教えたりする活動をしています。平成31年度は、これまで同じく非常勤嘱託職員5名を配置予定です。次に、教員業務アシスタント配置事業です。昨年度から始まった事業で、継続事業です。これは、教員の長時間勤務を是正し、学校の指導・運営体制のさらなる充実を図るため、学校の事務的業務を補助する教員業務アシスタントを配置するものです。平成31年度は、3名増の非常勤嘱託職員13名を配置予定です。次に、教科等の本質的な学びを踏まえた主体的・対話的で深い学びの視点からの学習・指導方法の改善の推進事業です。継続事業です。平成32年度以降実施されていく新しい学習指導要領の方向性を踏まえ、全ての学校・教師が主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に円滑に取り組むことが必要とされています。効果的で、地域の特色を生かした学習・指導方法の開発、優れた授業実践や校内研修の実施に取り組むとともに、その成果の普及を図るための実践研究を行います。平成30、31年度の2年間、麻里布中学校、麻里布小学校を指定校としています。あとの3つの新規事業については、後ほど英語教育推進室長より説明いたします。以上です。
教育センター次長	青少年課・教育センターです。はじめに、教育ネット整備事業ですが、これは、新規事業になります。昨年度から、情報統計課と連携し、新校

生涯学習課主査	務システムの導入、サーバーの本庁移設により、個人情報等の管理を徹底し、情報漏洩リスクの低減化を図ることができました。しかし、N A S（ネットワーク接続ハードディスク）に関しては、各校様々な機種・性能を使用しているため、情報漏れリスクの恐れがあります。そこで、平成 31 年度は、より強靱なセキュリティの構築を図っていくための N A S の一括整備を行います。次の教育センター駐車場拡張事業ですが、これは継続事業になります。平成 30 年度は、土地を取得し、平成 31 年度は、アスファルト舗装や境界壁などの駐車場拡張整備を行います。次の教育支援教室拡張事業ですが、これは新規事業になります。不登校児童生徒の増加に伴い、今まで、課題であった岩国市南部地域の児童生徒の学びの場（支援教室）を由宇総合支所内に開設するとともに、通室することができない児童生徒には、支援教室職員を学校や家庭に派遣し、学習支援を行う機会を設ける事業を行います。青少年課・教育センターからは以上です。 生涯学習課の「とどける」家庭教育支援事業についてご説明します。平成 28 年度から 3 年間、平田中学校区で、訪問型家庭教育支援事業を展開してきました。この事業は、地域社会のつながりの希薄化や経済的な格差、子供たちの不登校、ネット依存、いじめなどの社会的な問題を背景として、家庭教育が困難になり、子育てに悩みや不安を抱えたままにいる保護者等、家庭の孤立を防ぎ、「傾聴姿勢」で「寄り添い」、課題解決に向けた支援を行おうとするものです。これまでに、平田中学校区では、学校から要請を受け、平成 28 年度には 9 件、29 年度は 24 件、今年度は 1 月末までに 20 件の家庭に対して、チームと学校が連携して支援を行いました。その結果、アンケートに答えた全ての被支援家庭で、「保護者や児童生徒の状態が改善に向かった。」と回答していただいています。また、該当校区の教職員からも、「支援員のサポートのお陰で大変助かっている。」「保護者との関係が改善された。」などの意見をいただいています。この事業が今年度で終了することから、来年度の事業費として 240 万円計上しております。また、来年度は平田中校区から広げ、全市でこの体制づくりを進めてまいります。事業継続の理由として、最近のニュースでも取り上げられています子供が犠牲になる事件は、人間関係の希薄化やストレス、若年出産や経済格差、子育てのしにくさなど様々な要因が挙げられています。そこで地域の支援員が子供を介して、家庭の様子がみえる学校と連携し、不登校の改善や福祉部局と連携した家庭支援を行い、保護者の困り感に寄添う支援をします。市内の小中学校の生徒指導主任は、「自分の校区にこのような支援チームが必要か？」の質問に「そう思う」「少しそう思う」と全員が答えていること。また、小中一貫教育を推進していく上で、家庭に課題を抱える児童生徒の情報を、地域の支援員と共有することにより、小学校から中学校へスムーズ
----------------	---

	な橋渡しができ、より効果的で、適切な学校対応や福祉にかかわる制度の適応が期待できること。などが挙げられます。これまでに、昨年 11 月の校長園長会で趣旨を説明し、今年 1 月には、全ての小中学校を巡回して人材発掘と支援員の推薦について校長に説明してきました。学校と連携しながら、課題を抱える家庭を訪問し、保護者の不安や悩みに寄り添い、家庭の自立と課題解決につなげる体制の充実を目指していきます。また、サロン開設や、学校・地域の行事に合わせて相談機会を設けるなどの活動を通して、課題を整理し、必要に応じて専門機関や福祉部局への橋渡しを行います。学校側からの反響も大きく、既に数校の小学校から支援員の推薦をいただいております。来年度は、これまでの平田の実績をモデルとして、各小学校区を 1 つのエリアとして、校長の推薦による家庭教育支援員を配置し、保護者が、支援員とのつながりの中で主体的に子育てできることで、安心感を得ることができます。市の中では、教育委員会と福祉部局の連携を進め、岩国市全体で切れ目のない子育て支援、家庭教育支援体制を構築し、「子育てしやすいまちづくり」の推進をしていきたいと考えています。配付しています「訪問型家庭教育支援ハンドブック」は、県教委のほうで作成されたものです。これには、岩国市と宇部市のこれまでの取組が集約されており、これから全県でも家庭教育支援チーム立ち上げの参考資料として配布されるものです。以上です。
中央公民館長	生涯学習課中央公民館です。老朽化した中央公民館を建て替えるため、平成 28 年度に中央公民館等建設基本構想を策定しましたが、その継続事業として、平成 31 年度に基本計画を策定するため中央公民館整備事業 1,353 万円の委託料を計上しております。財源は一般財源を使用いたします。できあがった基本計画を基に事業認定取得の手続きに入る予定にしております。
文化財保護課、 徴古館長	文化財保護課及び岩国徴古館から今年度の主な取組についてご説明いたします。まず、文化財保護課の 1 点目「オオサンショウウオ再生事業」についてです。これは新規事業ではありますが、これまで 4 年間、宇佐川を中心にオオサンショウウオの生息状況等調査事業を実施した結果を基に、行う事業です。具体的には、これまで緊急保護しておりました 25 頭のオオサンショウウオが、痩せ現象から回復し、自然に返せる状態となったため、本来の生息地であったと考えられる、錦町宇佐地区に昨年 9 月に 10 頭放流し、今年 5 月には残り 15 頭の全てを放流予定としております。この宇佐川最上流域に現在生息実態がないため、生息繁殖地の実現を目指し、人口巣穴の設置をすると共に、放流後のモニタリング調査等を行うものです。次の「遺跡発掘調査事業」は継続事業です。これは都市計画道路の家屋の移転等に伴う開発予定地及び横山地区の試掘確認調査を実施すると共に平成 27 年度から 30 年度までに実施した文

化庁補助事業の報告書を取りまとめることとしております。また、中津居館跡の発掘につきましては、道路課の予算で実施しておりますが、事業費ベースでの進捗率は現在のところおよそ6割という状況です。発掘作業は平成31年度中に完了し、平成32年度には報告書及び遺物の保存処理などを行うよう計画しております。次の「シロヘビ飼育施設整備事業」は継続事業です。老朽化した、麻里布小学校横の山手シロヘビ屋外放飼場を解体し、新たに旧藤河中学校校舎解体予定地に新設する事業です。今年度実施設計が完了する予定ですので、平成31年度は先に新築工事を行い、シロヘビを移動させた後に解体工事を行うこととしております。

続きまして岩国徴古館の事業についてご説明いたします。まず、「博学連携事業」は継続事業です。この事業は学校と博物館が相互理解を深めて協力することにより、教育活動を更に効果的に深化させていこうとする取り組みです。子どもたちの地域への関心を高め、郷土愛を育むと共に、博物館をより身近な施設として活用してもらうためのアプローチとして行う事業で、パンフレットの更新・増刷や体験教材の製作を行うこととしております。次に「展示室リニューアル事業」も継続事業です。これは、近年増加傾向にある外国人観光客に対応するため、徴古館の常設展示室のパネルの整備及び多言語化するものです。次に「岩国市博物館等施設再整備計画策定事業」ですが、これは新規事業です。将来に向けて、市内に現存する歴史民俗資料館や博物館などの施設が担うべき役割、機能、資料収集のあり方について、将来の指針とするために計画を策定するものです。平成31年・32年の2年間で検討してまいります。最後に、岩国人物伝刊行事業です。新規事業としておりますが、これまで同様に子どもを中心とした幅広い世代に分かりやすく学んでいただくための4作目となります。先日、2月1日付け「広報いわくに」の市長夢日記でも取り上げていただいておりますが、これまで、「赤禰武人伝」「吉川経幹伝」「東沢瀉伝」と3部製作して参りました。今回は、錦帯橋を架橋した、吉川広嘉（きっかわひろよし）で検討を進めることといたしました。なお、補足説明ですが、今年の4月1日から文化財保護法の一部が改正されますので、少し説明をさせていただきます。大きな特徴としましては、2点ありまして、1点目はこれまで保護・保存が中心で考えられてきましたが、少子高齢化を迎える中、未指定を含めた文化財をまちづくりに活かしつつ、地域社会が総がかりでその継承に取り組んでいくこととして、文化財の「活用」の部分が大きく盛り込まれており、そのための様々な施策が展開できるようになっている点です。もう1点は、これまで文化財保護の事務は教育委員会の所管とされてきましたが、条例を整備することにより地方公共団体の長が担当することができるよう改正されるという点です。以上で、文化財保護課及び岩国徴

中央図書館長	古館からの説明を終わります。 中央図書館です。平成 31 年度の中央図書館の主な取り組みは、中央図書館屋根防水改修事業です。中央図書館は、総工事費約 19 億円で平成 5 年 12 月に竣工し、翌年 7 月に開館しました。竣工から約 25 年が経過し、現在では、屋上の屋根の防水シートが劣化し浮き上がっているところもあり、雨水が防水シートを通過して、コンクリートクラック（ひび）から浸み込み、館内の天井や壁面からの雨漏りの発生が見られる状態となっております。そのため、利用者が快適な環境で図書館を利用できるように、そしてまた市の貴重な資料を適正に保存するとともに、施設の長寿命化を図るため、中央図書館の屋根防水シートの一斉改修を行うものであります。予算は、工事請負費 18,887 千円を計上しております。以上です。
英語教育推進室長	英語教育推進室です。スライド使用します。英語教育の推進に向けてです。平成 30 年度の取り組みと平成 31 年度の事業概要を説明させていただきます。まずは、平成 30 年度の取り組みです。今年度は、新しい英語教育の指導体制の確立、英語力と英語指導力の向上研修の実施、コミュニケーションと体験活動の充実に取り組みました。新しい英語教育の指導体制の確立につきましては、英語教育推進計画の策定、英語教育推進委員会の設置と開催、小中一貫カリキュラムと 1、2 年生英語学習指導案例の作成があります。次に、英語力と英語指導力の向上研修の実施につきましては、英語授業力アップ研修、英語指導力と英語力アップ講座の開催、これは東京都福生市との連携になります、そして、英語教育推進フォーラムの開催があります。コミュニケーションと体験活動の充実につきましては、日米合同スポーツ交流会、各種イングリッシュキャンプの開催、基地内親子バスツアー、フレンドシップツアーイン岩国の開催があります。
英語教育推進室次長	続きまして平成 31 年度の予定です。外国語指導助手配置事業、英語民間試験活用事業、ベネッセコーポレーションとの連携協定、英語交流のまち岩国推進事業があります。外国語指導助手配置事業につきましては、市立中学校 14 校に外国語指導助手（ALT）を常駐配置します。財源は、再編関連特別地域整備交付金（県交付金）を 100% 充当します。次に、英語民間試験活用事業、ベネッセコーポレーションとの連携協定についてです。2 月 18 日にベネッセと協定を締結しました。全国で 12 番目、山口県内初、英語に関する協定として全国で 4 番目、中国四国地方でも初でございます。市立小学校 6 年生、中学校 3 年生全員が、ベネッセの GTEC の試験を受検します。ふるさと応援基金を 100% 充当いたします。次の英語交流のまち岩国推進事業につきましては、外部機関を含めた推進委員会の創設、アンケート調査、基本方針の作成、各種体験活動の実行、近隣大学との連携協定等で、内閣府地方創生推進交付金

市長 村尾教育委員	を活用いたします。以上です。 ただいまの説明に、ご質問・ご意見がありましたらお願いします。 まず、青少年課・教育センターから説明のありました教育支援教室拡充事業についてですが、支援教室を由宇総合支所内に開設されるということで、大変評価しています。次に、野田市で痛ましい事件がありました。家庭に訪問するスクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）の充実をお願いします。岩国におけるＳＳＷの質の確保等に関わる研修等の状況を教えてください。
教育センター次長 村尾教育委員	岩国におきましては、ＳＳＷが中心となって、月に１回程度、研修会を開催しています。具体的な事例発表という内容となっています。 ＳＳＷの質の向上は、子供の生活環境の改善にも繋がりますので、効果的に発揮できるようにしていただきたいと思います。また、ＳＳＷの必要となる定数の確保や、不足する場合については、増員をお願いしたいと思います。
教育センター次長 西村教育委員	そちらにつきましては、ＳＳＷの必要となる定数を確保し、減員がないように今後も努めてまいりたいと思います。 生涯学習課の「とどける」家庭教育支援事業と、青少年課・教育センターの教育支援教室拡充事業の事業費を比較して、生涯学習課の「とどける」家庭教育支援事業の予算が半分以上と低いですが、この点を説明してください。
生涯学習課長 廣田教育委員	今年度実施しています平田中学校区における事業の実績見込みから推計して当該事業の予算を計上しています。 まず、岩国市では、小中学校の普通教室において、空調設備整備が完了していますので、各学校から大変いいという話があがります。この度は、特別教室に空調設備を整備されていくといくことで、大変手厚い施策であると感じています。次に英語教育推進室には、主体的・対話的で深い学びの視点から事業を推進し、コミュニケーション、体験活動等を通じた学びの深化、英語能力の向上等をお願いしたいと思います。
英語教育推進室次長 牧中教育委員	新規事業であります当該事業の実施につきましては、ご意見いただきました点も含めて検討して参りたいと思います。 学校教育課の教員業務アシスタント配置事業についてですが、教員の業務を補助するアシスタントを配置することで、学校からは、どの様な声があがっているかお聞かせください。
学校教育課長	事務補助をしています教員業務アシスタントについては、配置している学校からは大変ありがたい、継続してもらいたい、という声をいただいています。また、評判を聞いた他の学校が、教員業務アシスタントを配置して欲しいという要望もあります。既に配置している学校におきましては、充実した職場環境に繋がっているからだと思います。来年は３名増員となっています。

村尾教育委員	学校教育課の英語教育推進についてですが、先日ベネッセコーポレーションと協定を締結しました。GTECという試験を活用して子供の英語の力を測るということでした。大変いいことだと思います。実践と評価を繰り返して英語力の向上をお願いしたいと思います。
西村教育委員	岩国徴古館の博物館等施設再整備計画策定事業についてです。岩国市の人口規模からみても、また、個人が所蔵する文化的資料を個人管理することが難しくなってきたときに寄贈することができる中心的な場所があること等々、岩国市には博物館というものは必要だと思います。いい計画を策定していただきたいと思います。
岩国徴古館長	将来へ向けて博物館等施設が担うべき役割、機能、資料収集のあり方、望ましい運営形態、望ましい施設、組織の指針とするための計画を策定したいと思いますので、よろしくお願いします。
廣田教育委員	村尾教育委員より保護者による子供への虐待についてがありましたが、生涯学習課の「とどける」家庭教育支援事業、教育センターにおけるSSWの活動、福祉部局やコミュニティースクールにおける地域の方々との連携、また、必要に応じて警察や弁護士等も含めた連携等で、あのような事件を無くしていく必要があると思います。
教育長	廣田教育委員よりありましたとおり、関係機関と連携して取り組むことが大切であると認識しております。
市長	そろそろお時間ですが他に何かありませんか。・・・。
	最後になりましたが、特別教室への空調設備整備ですが、普通教室と特別教室は教室の数はほぼ同じだと思います。普通教室で整備に5年程度かかりましたが、特別教室は3年で整備が完了しますか。
教育次長	平成33年度までに整備する学校は、対象としている学校のうち26校となっています。
教育政策課長	残りの学校につきましては、平成33年度以降の整備となりますが、これは、平成31年度策定の長寿命化計画とも調整しながら、進めて行く予定です。
市長	夏休みを中心に空調設備の工事を実施することになると思います。学校と上手く調整しながら進めていただきたいと思います。 では、本日の議題、平成31年度の関係施策の主な取り組みにつきまして、教育長、教育委員の皆様から大変貴重な意見をいただき、ありがとうございました。今後とも、相互に連携して、教育行政のさらなる充実に向け、事業を推進していきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。それでは、これもちまして、平成30年度第2回岩国市総合教育会議を閉会します。お疲れでした。